

# 子どもたちの未来の 森づくり事業



---

緑の募金では、「ファミリーマート夢の掛け橋募金」により都道府県緑化推進委員会推薦事業として「子どもたちの未来の森づくり事業」を実施しています。

---

## 次世代と作る「かしわの森」プロジェクト

北海道浦河町



### 事業概要

本事業は、「かしわの森」における森林整備を実施するとともに、幼児・児童・若者を対象に、里山保全に関する体験活動や学習機会を提供し、将来的に地域の里山づくりを担う人材の育成を目的とする。主な活動は、森林整備の活動、薪割り体験、講習会、イベントなど。

### 事業成果

風倒木については、専門家の指導のもと処理及び馬搬による木材搬出を行い、活動場所の安全を確保した。併せて、学生ボランティアや幼稚園職員と共に玉切りや薪割りを実施し、幼児や地域住民に薪割り体験を提供した。さらに、薪を活用した体験を通じて自然の循環や自然体験活動の楽しさへの理解を促進した。若者の参画により、森林保全への

関心と責任意識の醸成にもつながった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・幼児向けの薪割り体験は、楽しそうで充実していたが、女性のボランティアが多く作業は大変そうだった。構成員の男性の参加も多くした方が良い。(50代 法人代表者)
- ・学生に貴重な体験をさせていただきありがたかった。子どもたちの遊び場のために森を整備する体験は学生にとっても良い活動になった。また活動を連携して続けたい。(学生サークル担当者)

### 参加者の声

- ・作業は、大変だったけど初めて薪を斧で割って、うまく割れたのでとても楽しかった。(ボランティア20代女性)
- ・子どもたちが楽しそうに森で遊んだり薪を割っている姿が見られて良かった。(保護者30代女性)
- ・斧で木を割ったが、固くて大変だった。久しぶりにたくさん汗をかいた。(学生ボランティア20代男性)
- ・自分で薪を割って燃やしてマシュマロを食べておいしかった。(小学生女子)



薪割りや森林整備体験作業前の説明(かしわの森イベント)



枝を切る作業(かしわの森イベント)



風倒木の処理及び馬搬による整備活動



薪割り体験

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

森林整備：7回  
イベント：4回  
その他：薪割り、除伐、講習会

#### 参加者数

道内：250人  
計：250人

## 赤井川村の森づくりと環境学習事業

北海道赤井川村



### 事業概要

目的は、森づくりと地球環境保全の大切さを学び合うこと、森林の育成と全ての命との共生、異年齢・多世代間が育ち合い、夢と希望をはぐくむことである。幼児、小・中・高校生、近隣住民が、支援団体による指導・協力により、①森林環境学習会、②植樹会（広葉樹・針葉樹の苗木 200～300本）、③ポット苗づくり講習会、④異年齢・多世代グループによる感想発表会、⑤下刈り、⑥補植を実施した。

### 事業成果

学習会2回、植樹会、下刈り3回、補植を実施した。大学生を含む延べ220人が参加し、多世代での活動となった。特に高校生が中心となった下刈りでは、専門家の安全指導を守りながら取り組み、怪我なく終えることができた。これらの活動を通じて、事業目的に沿った成果が得られた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・2年目となる本年度において、昨年に引き続き村有地での植樹活動及び中学生を対象にした環境学習を実施していただいた。当日の参加者からも森林の重要性について学べた、また参加したいなど、多数の意欲的・肯定的な感想が寄せられ、今後の事業の継続性が感じられた。（赤井川村役場）

### 参加者の声

- ・森のことを学んだあとで、大変だったけど頑張れた。楽しかった。勇気がついたのでまたやりたい。（小学生）
- ・地球温暖化の解決のために働くことがうれしかった。今度は友だちを誘いたい。（中学生）
- ・今年はボランティアリーダーとして、去年より責任感を持って取り組むことができた。（高校生）
- ・幅広い世代が集い、未来のために汗を流し、とても有意義な時間を過ごせた。また参加したい。（50代）



森林環境学習



針葉樹・広葉樹の苗木9種類を植樹



感想発表会



異年齢・多世代間での交流

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.4ha  
植付本数：366本  
下刈面積：0.6ha  
学習会：2回

#### 参加者数

道内：220人  
計：220人

#### 樹種

針葉樹・広葉樹9種

## 現在より多様で、かつ他地域の子どもたちによる「沼田式森づくり」推進事業

北海道沼田町



### 事業概要

目的は、炭鉱開発によって荒廃・放置された森の里山の復元である。この目的を達成するため、以下の活動を実施し、森林に対する意識向上を目指した。①馬によるササの除去、②森づくりDAYを開催し、笹茎の除去、枯損木・伐期木の伐採及び馬搬による搬出・薪割り、③町内外の子どもたちと一緒に森づくり活動、森の利活用（遊び場利用・樹液採取・クラフト等）。

### 事業成果

継続して参加される町外団体の増加により森の整備が進んだ。森が整備され入りやすくなったことから、町からの紹介や見学グループ、イベント参加者が増えつつある。動物との協働活動が注目を集め、冬季の不在時も訪問が楽しみにされるなど認知度が向上し、間伐材を薪や板として地元小学校で活用するなど良い循環も生まれている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・森の近くに暮らしていても、実際に森に入る機会は意外と少ないので、こうした体験が得られるのは非常に貴重だと思う。多世代との交流や、刃物、火などと接することができるのも魅力である。これからも続けて開催してほしい。(町教育委員会職員 50代)
- ・事業として自立的に運営していくために、スポンサーの獲得やインバウンドへの働きかけも必要だと思う。(同業種経営者 50代)

### 参加者の声

- ・初めて見る生き物や、初めて使う道具があり、参加できてとても良かった。動物もかわいかった。仕事しているのがすごいと思った。(小学4年生)
- ・多動の傾向があるが森の中では伸び伸びと過ごしている。親として気になる場面が少なくなり、連れてきて良かったと思う。(保護者 30代)



馬による伐倒木の搬出



薪割り



採れたて樹液のひとつ



森づくりDAYで丸太の皮むき

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：1.0ha  
 間伐面積：1.0ha  
 森林資源活用（樹液・薪）：2.0ha  
 自然体験活動：1.0ha

#### 参加者数

道内：143人  
 道外：78人  
 計：221人

## 「厚真ふるさと自然再生の森づくり」事業

北海道厚真町



### 事業概要

目的は、胆振東部地震で崩落した斜面の森を復元するために地元住民による森づくり活動を行い、ふるさとの自然環境と防災について学び続けていくこと。主な活動は、①厚真町の林の樹木からタネを採る、②採取したタネ（球果、果実など）から種子以外の部分を取り除き、育苗箱やポットに植える、③生態学的混播混植法により、地元のタネから育てた苗木を植栽、④森林と地域の歴史についての学習。

### 事業成果

上厚真小学校での育苗活動では、タネ採りからタネ播き、育苗までの一連の過程を体験し、植物の生命サイクルや自然界の仕組みを理解し、自然への親しみを深めることができた。さらに植栽活動では、北海道の樹木36ユニット・計

288本を植樹し、森の役割や生物多様性について学ぶ機会となった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・生態学的混播混植法の植栽による効果を年々感じられる。
- ・親子での参加が多く、家庭での学習につなげることができた。
- ・地元団体等との協働事業を目指しているが、なかなか結びつかず、地元団体の運営協力を得たい。

### 参加者の声

- ・数年前に植えた樹木が育っていた。
- ・植物の生命サイクルや自然界の仕組みを理解できた。
- ・子どもに森や樹木について学んでもらえた。
- ・厚真町と周辺の歴史を知ることができた。



タネ採り



タネ播き



苗の植え替え



植樹

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：288本  
 タネ採り：3回  
 タネ播き：2回  
 その他：勉強会、視察

#### 参加者数

道内：82人  
 計：82人

#### 樹種

ハルニレ、ヤチダモなど20種類の広葉樹

## SDGs キッズ海岸防災未来の森づくり事業

宮城県仙台市、七ヶ浜町



## 事業概要

東日本大震災で失われた宮城県の海岸防災林の再生活動を継続的に実施していくため、未来を担う子どもたちに参加してもらい、海岸防災林を自分のものとして意識してもらうことを目的とした。また、コロナ禍で自然体験が少ない子どもたちに、海岸防災林や開放空間でのびのび活動する機会を提供した。小学生から高校生までの幅広い世代に、海岸防災林の植樹や保育活動、海岸でのビーチコーミングとマイクロプラスチックゴミ清掃活動、運河での釣り活動などを体験してもらい、楽しい思い出づくりと海岸防災林を自分たちで育てていく意識を芽生えさせた。

## 事業成果

宮城県は令和7年10月に「第48回全国育樹祭」を予定し、イベントで「育樹」の重要性を啓発。学校や企業に浸透し、新規参加者も増え、「育樹」にちなんだ活動で海岸防災林の楽しい体験が広がった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・子どもたちに海岸防災林での活動機会を多く提供する、すばらしい事業だ。(宮城県水産林政部森林整備課保安林班)
- ・海岸周辺を活用した多角的なプログラムがとても参考になる。(仙台市百年の杜推進部海岸防災林担当)
- ・植樹活動で長く手つかずだった緑地が整備され、再生・活用の契機となった。(七ヶ浜町菖蒲田浜地区の代表区長)

## 参加者の声

- ・こんなに輝いている子どもたちの目を見るのは初めてだった。(小学校教諭)
- ・初めてカマを使った。上手だとほめてもらえてうれしかった。(小学3年生 男子)
- ・海岸防災林の現状を目の当たりにし、より多くの人で本格的に取り組む必要性を感じた。(参加ボランティア)



植樹 (仙台市荒浜北官林)



「そらっこくらぶ」親子による海岸防災林保育活動 (仙台市荒浜北官林)



親子による海岸防災林整備 (七ヶ浜町表浜地区)



高校生の緑地整備・施肥活動 (七ヶ浜町表浜地区)

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積：0.45ha  
 植付本数：360本  
 樹勢回復：4,945本  
 下刈面積：7.15ha  
 除伐面積：0.65ha  
 間伐面積：0.1ha  
 森林資源活用：7回  
 その他：森林教室、自然体験、作業研修ほか

## 参加者数

県内：2,188人  
 計：2,188人

## 樹種

クロマツ、オオシマザクラ、ヤマザクラ、シラカシ、カシワほか

## しらかわ本沼花見山づくり里山緑化整備事業

福島県白河市



## 事業概要

荒廃した里山を整備し、サクラを中心とした植樹による緑地の再生と憩いの場の創出を進める。そして、東日本大震災復興のシンボルとして地域の活性化を図り、学校と連携した学習や体験、四季を通じた散策など、多目的に自然とふれあえる場を整備する。主な活動は、①下草刈りなどの森林整備、②里山環境学習や見学会などを実施。

## 事業成果

本活動地では、平成27年5月の活動開始以来、緑地整備や延べ8回の植樹祭でサクラ3,677本を地域住民とともに植え、里山整備を10年間継続してきた。今年度の事業においては、未整備地のシノダケ下刈り整備やボランティア草刈作業で対応しきれない場所の下草刈りが進み、さらに散策

遊歩道からの景観も改善することができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・広範囲の緑地整備をよく頑張っている。サクラの開花時期は桃源郷のようですばらしい。
- ・手入れ作業が大変そうなので手伝いたい。
- ・受入施設（トイレ・休憩所・駐車場）の整備が進められると良い。

## 参加者の声

- ・里山の観察に来て楽しかった。特に里山オリエンテーリングゲームが楽しかった。(小学6年生)
- ・これほど広い手入れは大変、ボランティアで参加したい。(60代)
- ・荒地をきれいにしてもらってうれしい。(地元果樹生産者)



地域住民と10年間かけて植えた3,677本のサクラ



小学6年生を対象とした「自然植物観察記録」



シノダケの下草刈り整備



乗用草刈り機で効率よく整備

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積：0.3ha  
 植付本数：60本  
 樹勢回復：500本  
 下刈面積：21.0ha  
 除伐面積：1.0ha  
 その他：小学生野外学習

## 参加者数

県内：337人  
 計：337人

## 樹種

サクラ、オオモミジ

## 田人林業体験フィールド活動事業

福島県いわき市



### 事業概要

自然散策して、森林とふれあい心豊かな人間形成と社会全体の利益の増進に寄与するため、荒廃した山林の整備を実施した。主な活動は、①不要木の除伐作業、②遊歩道の整備（重機による粗造りと砕石敷等）、③サクラ、ハナモモなどの植樹活動、④フィールド全体の下刈りとつる刈りを実施。

### 事業成果

子どもたちを主とした植樹活動参加者が増えている。遊歩道も70%完成し、植樹したサクラやハナモモが咲き始め、訪れた人に安らぎを与えている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・子どもと一緒に植樹をして、子どもの成長と咲き始めたサクラの成長を見に来ている。立派に整備されている遊歩道とフィールド管理は並みならぬ努力だと思う。今後も荒廃した山も手を加えることで里山として再生し、森林の大切さを学ぶ場となることが期待される。(40代 製材業)

### 参加者の声

- ・植樹体験に参加して、子どもたちが穴を掘ったり水をやったりして、木の命を学ぶことができて大変ありがたかった。(30代 主婦)
- ・紙芝居「雨水のぼうけん」を見て、森の大切さを知った。(小学3年生)



親子で植樹体験（近景）



親子で植樹体験（遠景）



サクラの大苗を植樹



植樹体験活動に参加した皆さん

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植樹活動：92人  
 遊歩道整備：51人  
 除伐作業：44人  
 下刈り・つる刈り：15人

##### 参加者数

県内：199人  
 県外：3人  
 計：202人

##### 樹種

ハナモモ、サクラ

## 子ども達の未来の森づくり

茨城県笠間市、水戸市



### 事業概要

森づくりの循環を目指し、子どもたちを中心に森の仕事体験を通じて放置林の現状と資源活用を次世代に伝えるとともに、地域住民と都市住民の交流を促進し、防災の観点から災害に強い地域づくりに貢献することを目的とする。主な活動内容は、放置林を安全で活力ある森に整備し、山村と都市住民がふれあう場を創出するため、①森仕事体験と環境学習会、②竹林整備とタケクラフトワークショップ、③市民団体に向けての活動報告会を開催。

### 事業成果

小中学生対象の森仕事の体験会では、のこぎりや斧を扱った森の整備や火起こし、調理を通じて自然の循環を感じ学び取ることができると実感したほか、林業への関心も高

まった。竹林整備と竹クラフトで、伝統的な竹の幅広い利用価値に関して、参加者の意識が高まり、地域での整備や活用に関心を持って実際に活動を始める参加者も見られた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・継続した整備活動や、市民や子どもたちへの環境学習や体験の場を設けることは大変な苦勞があったと思う。森林保全活動への参加意識の向上につながる意義のある活動である。引き続き継続してほしい。(70代 環境活動家)

### 参加者の声

- ・竹林の整備や利用法を体験し、地元の竹林を整備する意欲が湧いた。(50代 女性)
- ・竹の利用は昔から行われてきたが、プラスチックへの移行により衰退してしまった。衣食住全てに使えることに改めて感動し、自然の恵みに感謝する機会が改めて得られた。(50代 女性)
- ・森の整備の大切さを学んだ。また、火起こしが難しく苦勞した。(中学生男子)
- ・大きなのこぎりを使うことがきっかけで、森の仕事を知ることができて良かった。(小学生男子)



森林整備



丸太切り体験



整備活動後は焚き火の会



講演会ワークショップを開催

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：0.2ha  
除伐面積：0.03ha  
森林資源活用：20本  
その他：作業道修理、クラフト体験、生物調査ほか

#### 参加者数

県内：156人  
県外：6人  
計：162人

# 「どんぐりの森」みんなでリフレッシュ大作戦

千葉県四街道市



## 事業概要

地域の貴重な森林を次世代へ継承し、親子が安心して過ごせる環境を整えることを目的に事業を実施した。どんぐりの森を訪れる子どもや保護者、地域住民が森に親しみ愛着を持てるよう、自然と関わる遊びの機会を提供するとともに、遊具やテーブル等の備品の修繕・制作を実施した。

## 事業成果

本事業の実施により、遊び場としてだけでなく森林としてのどんぐりの森を意識する機会を創出できた。千葉県緑化推進委員会とのつながりから樹木医による研修を実施し、県内で森林活動に関わる団体とスタッフが共に学ぶ場を得たことは大きな成果である。さらに、備品の修繕や木材活用の体験を通じて「自分たちの森」という意識が高まり、参加者の再来園や増加にもつながった。友人や家族を伴った来訪も増えている。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・地域の貴重な森林であるどんぐりの森を、子どもたちや保護者、地域住民と共に、将来に向けて大切に守り、維持管理していくことは非常に大切なことだ。今回、どんぐりの森をお借りして樹木医を講師に森林管理のための研修会を開催した。研修会でも話があったように、将来にわたって親子が安心して過ごせる森を維持していくことは大変なことだ。今後も地域や関係団体と協力し継続して支援していきたい。(千葉県緑化推進委員会)

## 参加者の声

- ・小屋の文字をみんなで塗った。きれいになってうれしい。(常連中学生)
- ・森は楽しい。また活動したくて森に来た。(小学生男子)
- ・参加者と一緒に色など検討しながらの作業をすることでいろいろな話ができ、一体感が出た。(スタッフ)
- ・枝落としチャレンジは初参加の人にも分かりやすく、自然の中で遊ぶ時の危険や対策を実感できる。(スタッフ)



小屋の看板を修繕



テーブル、デッキ等のペンキ塗り



森のプール遊び



端材などを使った工作体験

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

遊び場の開催、森の美化、修繕等の活動：143日

#### 参加者数

計：6,265人

## AKIRUNO BASEプロジェクト

東京都あきる野市



## 事業概要

東京都あきる野市にある里山「AKIRUNO BASE」は、「子ども自身が自由な発想で遊びを実現する場」をテーマに、当法人のボランティアスタッフがプロジェクトチームをつくり整備を進めてきた。「AKIRUNO BASE」周辺には、いまだ手つかずの森林が残っている。本事業では、①地域の森林を守ること、②子どもたちが日常生活では体験することのできない森林での活動、森林での遊びから自然との共生や重要性に気づき、里山保全や森林保全への具体的な行動を起こすことのできる人を育てること、③近隣の幼稚園・保育園、学校、近隣住民とともに里山保全や森林保全を行い、豊かな緑と水に恵まれた居場所を創ることを目的として、小学生を対象としたキャンプ活動、当法人ボランティアスタッフが行う森林整備を実施した。

## 事業成果

今年度は遊び場拡張の整備を進め、デイキャンプは2月

23名、3月は定員を30名から50名に増枠するなど参加ニーズの高さが確認できた。アンケートで「AKIRUNO BASE」の必要性について9割以上の支持で、リピーターも一定数あり、「地域の遊び場」としての認識が広がっている。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・行政や近隣の幼稚園、小学校の子どもたちも遊べるようにしたらどうか。(地域住民50代)
- ・子どもの声が聞こえてうれしい。(地域住民70代)

## 参加者の声

- ・子どもの頃からこういう遊び場で遊ぶことはとても大切だと思う。(ボランティアスタッフ10代女性)
- ・自分で考える遊びが楽しい。(参加者の子ども)
- ・こんな遊び場所があるのは知らなかった。(保護者)
- ・こんな場所にこのような遊び場を作ってくれるなんてすばらしい。(保護者)



「AKIRUNO BASE」活動場所



ボランティアスタッフによる森林整備



落ち葉で遊ぶ子どもたち



枝をのこぎりて輪切りにする子どもたち

## 実績とりまとめ

## 作業内容

下刈面積：0.6ha  
間伐面積：0.4ha  
その他：自然体験活動、森林整備

## 参加者数

都内：130人  
都外：3人  
計：133人

# 森林環境教育みらいプログラム

東京都青梅市



## 事業概要

次世代を担う子どもたちの「主体的に森林課題に取り組む態度」と「責任ある行動」の育成のため、体験的継続的な学びの機会を提供する。主な活動は、①森林関連NPOの方を小学校へ派遣し、森林環境問題についてのゲストティーチングを実施、②帰校後、森林環境に対する課題や林業体験から得た気づきをもとに、「森林を活用した生活を考える」をテーマに各校で探求学習を実施、③アイデアを発表するためのプレゼン大会を実施。

## 事業成果

青梅市の森林のほか、高尾の森林や目黒区内にある森林フィールドなど、大小、樹種が異なる多種多様な森林で体験学習が実施できたことは大きな成果であった。また、児童のアイデア発表に多くの関係者を呼び、子どもたちのプレゼンに対してフィードバックを得た。森林と海の関わりやハチなどの生き物と自然環境のつながりにも言及があった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・森林整備の体験ができてありがたい。今後も出前授業やワークショップで講師をお願いしたい。(五本木小学校教諭)
- ・森林環境税の使い道を模索している现阶段に、教育プログラムを構築できたことは評価できる。(林業従事者)
- ・子どもたちに森林や自然環境について伝えることは次世代育成に重要であり、今後も関わっていきたい。(ワークショップ講師)

## 参加者の声

- ・間伐で光が差し明るくなり、教科書では学べないことを実感した。(児童A)
- ・人手不足と聞き難い仕事だと思っていたが、実際は楽しくやりがいを感じた。将来、林業をやってみたい。(児童B)
- ・授業で林業を学んだ際の子どもたちの食いつきが大きく違った。体験を通した学びの成果と感じている。(校長A)



事前授業で森林についての講義



間伐後の丸太を搬出



森林体験に参加した児童ら



アイデアを発表するプレゼン大会

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：2.0ha  
 間伐本数：4本  
 森林資源活用：3回  
 森林体験学習・事前授業：5回

#### 参加者数

都内：337人  
 都外：4人  
 計：341人

## 里山の手入れをしながら季節暦づくり その2

東京都檜原村



## 事業概要

目的は、里山について知るために、年間を通して森の手入れや観察を続け、子どもたちが五感で楽しむ自然体験プログラムづくりを目指すものである。主な活動は、以下のとおり。①生き物調査、②センサーカメラの設置と確認、③タケのクラフトとクリスマスリース、④炭材用間伐と炭焼、⑤自然観察した生き物の記録をまとめて生物図鑑制作、⑥薪で飯ごう炊さん。

## 事業成果

川や森の生き物調査を続け、調査結果などをモニターで確認、情報の共有を図ることができた。生徒には、それぞれこだわりの生き物がある場合が多く、調べてまとめて発表するツールとして「生き物図鑑」を作ろうという動きが生まれたことが今年度の成果である。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・この事業地は、人工林、落葉広葉樹林（二次林）、草地、溪流があり、里山らしい自然、風景があり、生徒たちには、それぞれの興味の対象となる生き物を探しやすい良いフィールドである。生徒がそれぞれの課題を持って、森に各自の1項目を投稿できるようにできれば、素晴らしいプログラムとなる。(教員 40代)

## 参加者の声

- ・岩の裏で動く小さな生き物を見つけ、こんな場所でも必死に生きていることに感慨深さを覚えた。(高校生)
- ・水の流れが速く足場も不安定でバランスを取るのが難しかったが、生き物を見つけられたときはとてもうれしかった。(中学生)
- ・竹の器づくりは小学校で経験したが、箸づくりは初めてで貴重な体験になった。自作の箸でそうめんを食べるのも滅多にない経験だった。(高校生)
- ・顕微鏡観察で生物の細部を見られ、センサーカメラでは動物の通り道をみんなで考え森に詳しくなれた。(高校生)



川の生き物調査



自作した器、箸を使ってソーメンを食べる



炭材の長さに切る作業



自然観察した生き物の記録をまとめて生物図鑑制作

## 実績とりまとめ

## 作業内容

間伐面積：0.01ha  
 森林資源活用：2回  
 生き物調査：4回  
 その他：飯ごう炊さん、炭焼見学

## 参加者数

都内：158人  
 計：158人

# みんなで育てるキョロロの森

新潟県十日町市



## 事業概要

里山の魅力や機能について体験的に学び、その保全を図る活動意識を醸成することを目的とし、「キョロロの森」の整備と植林及び里山の保全体験活動を実施する。主な活動は、以下のとおり。①植林予定地の整備、②散策道の改修工事、③植樹イベント、④木育イベントなどを実施した。

## 事業成果

キョロロの森における荒廃地を除根・整地し、新たにブナの植樹を行う準備ができた。樹齢10年未満の植林樹木の枝打ちを行い、樹木の生育促進効果が確認できた。

関係者の協力を得て、かつての植林地において下草刈り、除伐作業を行うことができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・キョロロの活動の中に、単なる観察だけではなく参加者が楽しみながら森づくりに取り組める方法を考えていきたい。

## 参加者の声

- ・森林の育成や再生について理解が深まった。(修学旅行の生徒)



間伐後の木の切り口を観察 (木育イベント)



子どもも除伐作業を体験 (木育イベント)



植樹作業 (植樹イベント)



植樹に参加した皆さん (植樹イベント)

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.05ha  
 植付本数：25本  
 下刈面積：0.40ha  
 除伐面積：0.02ha  
 木育体験：1回

#### 参加者数

県内：11人  
 計：11人

#### 樹種

ブナ

## 子どもたちの未来の森づくり事業

石川県小松市、輪島市



### 事業概要

第66回全国植樹祭は、2015年5月に石川県で開催され、式典参加者による記念植樹が小松市の「憩いの森」で行われた。植樹された樹木は順調に成長しているが、継続した保育が必要である。地域のシンボルとなる森に育て、学童の「森の学び」のフィールドとして整備する。

また、輪島市町屋町金蔵地区には、美しい里山や奥能登の原風景をとどめる棚田維持に不可欠な用水用溜池周辺の山林保全活動が地域住民により行われているが、高齢化に伴い次第に困難となっている。この地区は歴史的資源が残されており、世界農業遺産「能登の里山里海」の一翼を担うべく地元住民並びに小中学校と連携し、未来に引き継ぐ地域の象徴的な森づくりを行う。主な活動は、以下のとおり。「憩いの森」：①植樹区域の下草刈り、②ハイキングコースの景観改善。「金蔵の里山保全」：①金蔵山の休憩用東屋周辺の下草刈り、②学童による植樹体験区域の整備。

### 事業成果

能登半島地震の影響でインフラの復旧が遅れている中、里山保全活動は、遠隔地につき宿泊を伴う活動を行い日帰りの活動も2回実施できた。地元住民及び能登地区の会員の参加を得て、今後の活動実行のための確実な一歩を踏み出すことができた。また、新規入会メンバーを中心に下刈機やチェーンソー使用について、ベテラン会員による安全指導等を行うことで、安全な作業につなげることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・輪島金蔵地区では地元住民や会員の協力で宿泊所の確保等を含め協力を得て整備作業の拡大を目指している。

### 参加者の声

- ・金蔵の里山保全では、一昨年の能登半島地震で地元住民の参加者が減少しており、当会の活動を高く評価されている。(地元住民代表及び地元会員)



森林整備（憩いの森）



作業準備と安全点検（憩いの森）



草刈りを実施し眺望改善（金蔵の里山保全）



広場の整備（金蔵の里山保全）

### 実績とりまとめ

作業内容  
下刈面積：6.6ha  
参加者数  
県内：110人  
計：110人

# 子どもの心と体をはぐくむ育ちの場整備事業

山梨県山梨市



## 事業概要

目的は、森林に触れたり調査学習を行ったりすることで環境について考えるきっかけを与え、身近な自然を大切に積極的に関わろうとする心を養うこと、また、放置され危険になりがちな古民家の庭を整備し、子どもたちの育ちの場とすることで自然環境への理解や興味関心を広げることである。主な活動は以下のとおり。①森林実態調査(森林と川の事前研修会)、②草刈り、③剪定作業。

## 事業成果

公募した地域住民や子どもたちが参加し、身近な森林を守る重要性を考える機会となった。森と川の实地研修では、講師の専門指導のもと安全に学習会を開催でき、スタッフが学んだことを生かして子どもたちへの学習会や森林文化の継承につなげた。庭の木々を守るワークショップでは、根や落ち葉、微生物の役割を理解し、剪定作業で木々を元気にする方法について子どもたちが考えるきっかけとなった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・森林実態調査に参加して、川と森林の関係について学ぶことができた。子どもたちに自然の面白さと怖さについて伝えるたくさんの学びをいただいた。(学生 20代)
- ・落ち葉や微生物が森林保全に欠かせないことや、草刈りや害虫の意義について新たな視点で考え、自然を守るとは何かを考えるきっかけになった。(スタッフ 40代)

## 参加者の声

- ・木の剪定作業や草刈りは子どもの育つ環境を整えていくために欠かせない。草刈りを通して、少しでも環境保全と自然の中での子育て環境をより良いものにしていくためには、今後も活動を応援していきたい。(主婦 40代)
- ・剪定したビワの枝と葉で染物をした。草木がより身近に感じられたことと、美しい色が出てくる植物のエネルギーを感じた。貴重なワークショップだ。(主婦 30代)



剪定作業



草刈りワークショップ



森林実態調査



草刈り、草木染めワークショップ

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

樹勢回復：28本  
下刈面積：3.0ha

#### 参加者数

県内：43人  
計：43人

## 「山の子村」西小里山再生プロジェクト

長野県大町市



### 事業概要

目的は、山の子村（キャンプ施設）の創設者故内山慎三さんの遺志を引き継ぎ、多くの子どもたちに豊かな自然環境の中で森林体験をしてもらうため、展望ブランコを製作することである。主な活動は、ブランコ製作に当たり、①設置場所の除伐・草取り、林内の散策、簡易的なブランコの設置。②材料の調達（ヒノキ・リョウブ等）、伐採・搬出、丸太の皮むき加工。③組み立て、防腐剤の塗布、看板の準備。④最終作業として、歩道整備及びブランコの紹介。

### 事業成果

子どもたちのみならず多くの人に山の子村を知ってもらい、豊かな自然環境の中で森林体験をしてもらうことができた。また、自己有用感の育成の点でも有意義な活動となった。ブランコ設置後は地主の方にも乗っていただき、山の子村のPRと存続の大切さを伝えることができた。さら

に、紹介や自然体験を通して愛着を深めることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・近くにこんなに自然に恵まれた遊び場があることを初めて知った。子どもたちが一生懸命作った展望ブランコからの北アルプスの眺めもすばらしい。（保護者）
- ・多くの方に山の子村に来てもらえてありがたい。森林の中でもっとたくさん自然に親しんでほしい。（山の子村ボランティア）

### 参加者の声

- ・高いところまでブランコが漕げてスリルがあった。景色が良くて大町市がよく見えた。カナヘビも捕まえた。また遊びに来たい。（招待された他学年の子ども）
- ・山の子村での楽しい場所が増えたので、来年もまた来たい。小学生が作ったなんてすごい。（福島からキャンプに参加した子ども）



ブランコ設置場所の整備



林内から調達した木を皮むき



ブランコの組み立て



完成した「展望台ブランコ」

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：0.04ha  
 除伐面積：0.01ha  
 間伐面積：0.01ha  
 歩道整備：0.02ha

#### 参加者数

県内：約145人  
 計：約145人

# センス・オブ・ワンダー 森のなかの多世代交流

静岡県浜松市



## 事業概要

本事業は、過疎化・高齢化が進む山里の子どもたちや保護者を対象とし、子ども同士のふれあいや保護者同士の支え合いを育み、子育て世帯が地域で安心して暮らせる環境づくりを図る。主な活動は以下のとおり。①春野町の拠点：放置竹林・人工林・栗林の間伐や伐採等の管理、親子が宿泊できる遊びの空間へと再生、竹炭やタケのランタンづくり、ワークショップや交流会。②長沢の拠点：森と川で遊ぶ集い（木工、畑仕事、水遊び等）。

## 事業成果

「春野町」拠点では、親子が宿泊・交流できる環境整備を進め、間伐材や竹を活用した薪ストーブ・薪風呂の設置や施設改修を行った。「長沢」拠点では、動物や豊かな自然環境を活かした交流機会を創出し、子どもたちにとって五感が冴え渡る“センス・オブ・ワンダー”体験の場となった。



間伐後の枝払い（春野町の拠点）



タケでランタンづくり（春野町の拠点）



竹林整備後のタケ等を利用して無煙炭化器で炭づくり



食事をしながら親子交流会の様子（長沢の拠点）

また、子ども同士や保護者同士、地域住民との交流促進にもつながった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・多方面から参加があり、自然を満喫できる場となった。今後はマコモ栽培やジャガイモ・大豆の収穫、サトウキビジュースづくりなど多様な体験機会を充実させたい。（長沢の拠点を提供してくれたご夫婦）
- ・山里に暮らす中では単独では難しい取り組みも多く、良い機会であった。景観も整いすっきりした。（地元住民 40代男性）

## 参加者の声

- ・タケでランタンが作れてうれしかった。（浜松市 13歳）
- ・もらった竹炭をお水に入れて飲みたい。（浜松市 10歳）
- ・焚き火ができて感動した。（浜松市保護者 30代）
- ・子ども同士が自由に遊べる場があり、ありがたい。（磐田市保護者 40代）
- ・川や森があり、多様な動物や生物がいて子どもたちの好奇心が盛んになってうれしい。（浜松市保護者 30代）

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.01ha  
 植付本数：5本  
 下刈面積：0.7ha  
 除伐面積：0.5ha  
 間伐面積：0.3ha  
 森林資源活用（薪、炭）：20本  
 その他：竹炭づくり、交流会ほか

#### 参加者数

県内：94人  
 県外：7人  
 計：101人

#### 樹種

ミツマタ

## あさくら里山の保全・活用事業

愛知県知多市



## 事業概要

地域に住んでいる方や園外保育で訪れる保育園児が、自然豊かな里山を安全・安心に散策し、いろいろな草花を目で楽しんでいただくことが目的である。主な活動は、①ウメ、サクラ周辺斜面及び頂上の平坦部の草刈り(年4回)、②散策道整備として階段枕木の交換や落ち葉の清掃、③子どもたちを対象とした、頂上平坦部でウォークラリー、飛行機飛ばし、竹とんぼ飛ばし、ドングリ工作等のゲームで交流(年2回)。

## 事業成果

本年度も、小径の整備及びサクラを守るための草刈りを実施できた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・高齢者の方のボランティア活動時に、斜面の草刈りで滑らないよう安全面に十分留意してほしい。(ボランティア仲間)
- ・ボランティアの人たちの協力が大きな力となり、自然豊かな山がどんどん育っている。草木の剪定については、今後、専門の剪定士に指導を受ける予定。(事務方メンバー)

## 参加者の声

- ・保育園児たちが頂上平坦部で元気に駆け回る姿を見ると微笑ましい。ベンチの脚が破損しているように見受けられるため、交換をお願いしたい。(保育士)
- ・頂上部に登ると木が生い茂り、空の青さが見えない。(一般公募散策者)
- ・小さな山のなかでゲーム等ができたことが楽しかった。次回も参加したい。(参加者)



記念植樹



階段の枕木を交換



花壇整備で土壌改良



イベント(ゲーム遊び)

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積：6.0ha  
 植付本数：31本  
 下刈面積：12.0ha  
 除伐面積：3.0ha  
 その他：作業道整備、イベント

## 参加者数

県内：214人  
 計：214人

## 樹種

ヒサカキ、サクラ、フジバカマ

## どんぐり交流会の山づくり その5

愛知県新城市



### 事業概要

平成8年度より、ボーイスカウト、ガールスカウト、みどりの少年団が相互の交流と親睦を図るため、毎年「どんぐり交流会」を実施してきた。主な活動として、①交流会でどんぐりの苗木の植栽とシイタケの菌打ち体験を実施、②健全などんぐり山を将来にわたり、利活用できる山づくりを目指して、以前植栽した箇所の除間伐を実施。

### 事業成果

昨年同様多くの参加者を得た。熱心に作業に取り組む参加者も多く、どんぐり山の整備を順調に実施することができた。また、スタッフも作業に慣れてきており、スムーズに除伐作業を進めることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・除伐の実施箇所では、日の光が差し込み、先が見通せるほど明るくなっている。
- ・手入れが必要な林分が多くあり、継続して除伐を進めていく必要がある。
- ・シイタケ原木への利用を始め、伐採木の利用を進めていくことが大切である。

### 参加者の声

- ・どんぐりの苗木が大きくなると、シイタケの原木に使われることを初めて知った。
- ・特殊伐採の見学、迫力があった。
- ・林業を見た感じがした。
- ・どんぐり苗の植栽、シイタケの菌打ちを初めて経験した。



除伐作業



コナラを植樹(どんぐり交流会)



シイタケの菌打ち



ネイチャーゲーム

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：0.06ha  
 植付本数：200本  
 除伐面積：0.10ha  
 シイタケ植菌：200本  
 その他：薪割り、ネイチャーゲーム

##### 参加者数

県内：173人  
 計：173人

##### 樹種

コナラ

## 遊びと学びの子ども広場の整備と体験活動

滋賀県大津市



## 事業概要

小中学生が豊かな自然環境の中で森のしくみや生き物を理解するために比叡平団地に隣接する「青い鳥の谷の子ども広場」の整備活動を行っている。今年度は、①散策路増設整備、②落葉で堆肥づくりとカブトムシの飼育、③薪づくり、キノコの栽培技術の習得、④実のなる樹木の植樹とアケビの栽培、⑤野草の観察・記録と保護、⑥巣箱、餌台の製作・設置、木工細工と竹細工技術の理解と習得を実施できる環境づくりを進めた。

## 事業成果

新たにビオトープを造成し、水生生物の観察環境を拡充したほか、野鳥・昆虫観察会や里山体験活動を実施した。「青い鳥の谷の子ども広場」の整備により、学校教育や幼児の自然体験、親子利用など多様な活用が進んでいる。さらに、防獣ネット内(2.2ha)で山野草の回復が進み、観察・記録及び小冊子化を通じて普及啓発を行った。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・地域の情報誌「やまひだより」に毎月活動記事を掲載し、活動内容の周知を図っている。その結果、広く賛同の声が寄せられている。
- ・小学校関係者や保護者から、「外遊びが多くなった」、「デコボコ道でも転ばなくなった」などの謝辞が届いている。

## 参加者の声

- ・モリアオガエルの観察会において、独特の孵化の様子について解説を受け、強い関心を持った。
- ・自然とのふれあいと教室での学習を比較しながら学ぶことで、環境教育への理解が深まった。
- ・シカ食害の影響は自然環境の破壊に大きく影響していることが分かった。
- ・どんぐりから小さな芽が伸びているのが可愛かった。このうち、どれだけが大きな木に成長できるのだろうか。



モリアオガエルの孵化観察会



シイタケの植菌(里山体験活動)



防獣ネットの張替え作業



竹細工教室

## 実績とりまとめ

## 作業内容

散策路造成：40m

防獣ネット移設・補強：

150㎡

森林資源活用：薪、木工品、シイタケ原木

その他：野鳥・昆虫観察、シイタケ植菌ほか

## 参加者数

県内：266人

県外：31人

計：297人

## 環境保全活動を通じたレジリエンス共育事業

大阪府岸和田市



### 事業概要

対象山林は、かつて薪炭材やタケノコ生産に伴い維持管理されていたが、現在は放置により荒廃し、種多様性が低下している。そこで、生物多様性に富む明るい森林への林種転換による再生を目的に、①常緑広葉樹の除伐、②モウソウチクの皆伐、③低木から高木に至る落葉広葉樹の植栽等を実施する。

### 事業成果

種多様性に富む森づくりとして、竹林整備・伐採・チップ化及び植樹の実施により、参加者同士の交流が深まるほか、活動地の虫や動物の種類の増加が見られた。また、企業連携により資材活用や継続的な環境保全活動、地域イベントへの協力を通じて地域貢献を果たすことができた。さらに、子ども主体の活動により自発性が育まれたり、自然

環境教育のセミナーでは新しい参加者も増えた。そのほか、自然の恵みを体験する機会を創出するなど、様々な活動を通じ、子どもたちのレジリエンスの育成にもつながった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・新規プログラムに試行錯誤しながら取り組んだ。今後は進行管理の徹底とイベント参加を通常活動へつなげることが課題である。(プロジェクト・リーダー 40代)
- ・参加者に応じた活動ができ、自然との共生への理解が深まった。身近な植物を活用した体験と学びについて、今後も共有していきたい。(プロジェクト・リーダー 50代)

### 参加者の声

- ・子どもの主体的な姿が見られ、先輩お母さんたちにより、自分自身も作業に没頭でき、リフレッシュになった。親子での共同作業を通じて、四季や自然を身近に感じられるようになった。(小学生・年中・乳児の保護者)
- ・竹林整備活動では、植樹した木々の周りの下草刈りを経験することで、生物が多様性が増えてきたことや、タケノコの収穫の喜びを感じることができた。(中学生の保護者)



伐採したタケ・樹木の運搬、集積



植樹木の支柱へのテープ固定



タケ・常緑樹の伐採



伐採したタケ・樹木の粉碎(チップ)

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.2ha  
 植付本数：348本  
 下刈面積：0.5ha  
 除伐面積：1.0ha  
 間伐面積：1.5ha  
 森林資源活用(竹・木の粉碎等)：1.0ha  
 その他：歩道・階段づくり、自然環境教室ほか

#### 参加者数

府内：922人  
 計：922人

#### 樹種

ホオノキ、タムシバ、ヤマコウバシ、ダンコウバイ、アブラチャン

## 漁業者による森づくり活動

兵庫県南あわじ市



### 事業概要

目的は、柴浸け※によるアオリイカ産卵床造成にあわせ、一般県民にも呼びかけながら植樹活動を進め環境の保全と地域貢献を図ることである。

※柴浸け：地域に自生するウバメガシ等を伐採し、アオリイカの産卵床に活用するもの

### 事業成果

本年度も、植樹地近隣小学校へ植樹活動協力を依頼し、植樹後には山と海のつながり等について小学生を対象とした水産教室を実施できた。環境学習の機会を増やしたことに

よって、子どもたちの環境に関する知識・理解の深化につながられた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・次世代につないでいくために、漁業はワンチームでやっていく時代になった。植樹だけではなく、後継者問題も含め何らかの努力をしていきたい。(60代漁師)

### 参加者の声

- ・初めて木を植えて楽しかった。自分たちが植えた木がすくすくと大きく育つのが楽しみ。(小学生男子)



植樹箇所に穴と支柱を準備



植樹に使用する土を運ぶ



ウバメガシを植樹(小学生)



支柱にウバメガシを丁寧に固定

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：1.0ha  
植付本数：600本  
下刈面積：1.5ha  
水産教室：1回

#### 参加者数

県内：126人  
計：126人

#### 樹種

ウバメガシ

## みんなでつくるドングリの森

鳥取県鳥取市



### 事業概要

目的は、園児たちが育てた苗木を自分たちで植え付け、成長を見守ることで森林への関心の醸成を図り、森のともだちを増やしていくこと。主な活動は、「森の教室」に参加した鳥取県内の4つの保育園の園児たちを対象に、園児たちが育てたコナラの苗木を森林公園に植栽する「植樹会」を開催した。

### 事業成果

令和元年の事業初年度に植樹したコナラ苗の樹高が3mを超え、ドングリの森ができつつあることを実感している。

### 事業をよく知る関係者の声

・地球温暖化や気候変動による環境の変化は、私たちの生

活のみならず、地球上の多くの生物に様々な影響を及ぼしている。こうした環境変化を抑制するためには、環境保全意識の高揚が重要である。本事業は、その意識啓発を発信する取り組みであるとともに、「未来を植え育てる事業」として位置付けられるものであり、今後も活動の輪を広げていただきたい。(森林公園指定管理責任者)

### 参加者の声

・2年前に自分たちが播いたドングリが芽を出し、また森に還っていくという体験は、日常の保育の中ではなかなかできない経験だ。今回植えた苗木が、子どもたちが高校生になる頃には大きな木に成長し、ドングリを実らせると伺いた。子どもたちも10年後へ期待感を持ちながら過ごしてくれると思う。(園長)



生分解性ポットに入れて植樹



自分たちが育てたコナラの苗木



一つ一つ丁寧に植える子どもたち



植樹に参加した4保育園の71人の子どもたち

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付本数：71本

##### 参加者数

県内：95人

計：95人

##### 樹種

コナラ

## 森で遊び学べる「うぐいす山」大改善事業

島根県松江市



## 事業概要

松江市立出雲郷保育園「うぐいす山」において、未利用の人工林を含めて整備を行い、園児が日常的に安全に活動できる環境を整えることを目的とする。主な活動は、①園隣接の林地の草刈りや危険木伐倒等の森林整備、②保育園の先生への研修（危険動植物の知識と対処法）、③まつえ環境市民会議メンバーと公募によるボランティアによる伐木等の片付け、④整備後の園内裏山での森林体験活動。

## 事業成果

未利用の人工林の一部を整備したことにより、親子活動における自然観察やネイチャーゲーム等の森林体験フィールドとして活用できるようになった。また、整備により日当たりが改善し、空間が明るく快適になったことで、先生や保護者の森林整備の重要性への理解が深まった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・身近にある裏山を活用するには整備は欠かせないもので、毎年草刈りや危険木除去をお願いしている。今年度は本事業により森林整備が実施され、これまで立ち入ることができなかった人工林内にも立ち入れるようになり、活動フィールドが広がったことは大変うれしく感じている。人工林と雑木林の比較をすることができ、大きな木の林に歓声がわいた。これからの活用が楽しみだ。（保育園の先生）

## 参加者の声

- ・ロープで滑らないようにしてあって、上ったり下ったりがしやすかった。（参加者20代男性）
- ・樹木の観察会では、専門の方が分かりやすく説明してくれたことや、楽しいゲームしていただいたので、久しぶりに子どもとリフレッシュできた。（参加者30代女性）
- ・新しいスギの林の中で活動した。気持ちの良い場所ができたと思う。子どもたちも安全に活動できると思う。（参加者20代女性）



遊歩道・広場の草刈り



人工林の除伐木等の片付け



保育園の職員研修で危険動植物の知識と対処法をレクチャー



森林体験イベント「うぐいす山へGO」で自然観察やネイチャーゲームを実施

## 実績とりまとめ

## 作業内容

下刈面積：0.3ha  
除伐面積：0.12ha  
イベント：1回

## 参加者数

県内：134人  
計：134人

## つくしっチャPLAYBASEプロジェクト

山口県宇部市



## 事業概要

本事業は、障がい児の野外活動を通じたインクルーシブ社会の実現を目的とし、障がい児の癒しの場や生活力向上、家族の不安解消、障がいへの理解促進と地域の活性化に資する活動を実施した。内容は以下のとおり。①有害鳥獣対策・散策用の山林の伐採、②水源の確保(畑の灌水用ポンプ)、③仮設トイレ設置、④山林内の樹木を利用した遊び、⑤廃材を利用した遊び場づくり、⑥自然活動イベントの実施。

## 事業成果

普段、自然活動に参加する機会が少ない障がい児やその家族に活動参加してもらうことで、開放的で活動的な姿を見ることができた。また、高齢化率が高く荒野面積が広い地域で定期的な整備や活動を行うことで、地域の活性化や

地域住民の障がいへの理解につながった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・現地の環境整備は土地が広く苦勞するが、伐採した樹木や廃材を利用した活動は、良い活動だと思う。(障がい者の就労支援事業所男性職員 50代)
- ・自然活動は、心身の成長に大きく影響するため、継続した活動を期待している。(レクリエーション経験者 70代男性)

## 参加者の声

- ・広い場所で走り回ったり、川に入ったりして遊ぶことができて楽しかった。(男児)
- ・日頃、見られないような子どもの表情や動きを見ることができた。のこぎりを上手に使う姿を頼もしく感じた。(保護者)
- ・準備は大変だったが、子どもたちやご家族の楽しそうな様子が見れて報われた。(放課後デイサービス職員)
- ・またこのような機会を提供したい。(地域住民 80代女性)



自然体験イベントで木登り



サクラを植樹



除草作業



廃材でベンチづくり

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付本数：9本  
下刈面積：0.96ha  
間伐面積：0.04ha  
森林資源活用(薪)：1回  
イベント：1回

## 参加者数

県内：91人  
計：91人

## 樹種

サクラ

## 親子里山体験講座

徳島県徳島市



## 事業概要

本事業は、成長が著しい就学前の子どもたちと保護者を対象に、里山をフィールドとした体験型講座を開催し、森づくりへの理解促進と次代を担う青少年の育成を目的とする。主な活動は以下のとおり。①カモフラージュゲームと斜面登り、②里山の資源である薪や炭等の再生可能エネルギーを活用した野外調理体験、③木工クラフト、④植樹体験。

## 事業成果

前年度まで、「親子里山体験講座」を通じて、森での体験活動や薪・炭を使った野外料理、自然素材のクラフト等を実施し、森林環境への関心と理解の醸成を図ってきた。今年度は前年度の成果に加えて、ナラ枯れ対策で伐採した樹木と、20数年の活動で疲弊した拠点の「山人(やまんど)の森」を再生するため植樹活動を実施した。クヌギを30本植樹し、森の再生のための活動を実施できた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・当法人の活動に対して、森づくりボランティアの先頭に立ち「県民参加の森づくり」や「とくしま絆の森“森へ行こう!”」を牽引し、その後の「とくしま協働の森交流会」では、指導者として様々な企業や団体を山に迎え、植樹や間伐等の森林整備、数々の山の楽しみを指導していただいた。また、里山林での青少年の森林環境教育にも取り組んでいただいている。(公社法人役員 60代)

## 参加者の声

- ・森に入って、山の状況を知ることができた。(講座参加者 40代女性)
- ・森(自然)が好きになった。(講座参加者多数)
- ・自然に目が向くようになった。(講座参加者 40代女性)
- ・里山での体験は、普段体験できないことばかりだったので新鮮だった。(講座参加者 40代女性)



ツルハシで植樹のための穴掘り



クヌギを植樹



防護柵を設置



松ぼっくりなど自然物を使ったネイチャークラフトの作品と記念撮影

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積：0.02ha

植付本数：30本

間伐面積：0.1ha

## 参加者数

県内：67人

計：67人

## 樹種

クヌギ

# どんぐりを育てる秘密基地～森づくり編～

熊本県人吉市



## 事業概要

本事業の目的は、活動を継続することにより、里山の風景を未来の子どもたちに継承することである。主な活動は以下のとおり。①植樹後の下草刈りを行い、手入れの重要性や、管理を怠ると森林が荒廃することを学ぶ。②下草刈りを通して、カマやナタの使い方、山を守るための知恵や知識を若者に継承する。③植樹活動として、実を拾い育てたどんぐりを山に返す体験を行い、里山の自然やその役割を学ぶとともに、身近な環境への意識を高める。

## 事業成果

下草刈りを実施する中で、自生しているタラノキの芽やフキノトウなど、身近な里山の自然の恵みを発見することができた。この「どんぐりを育てる秘密基地」で1年を通じた活動ができてきつつあり、毎回親子で参加する人たちも増

え、活動が広がりを見せている。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・継続した活動ではあるが、山に対する知識が浅くイベント的である。特に下草刈りは刃物を使用するため注意が必要である。そのため、子どものうちから自然に触れることで自然と人の暮らしの関係を学び、林業に対して興味を持ってくれることを期待する。(林業会社代表取締役)

## 参加者の声

- ・母親に勧められて参加した。最初はあまり乗り気ではなかったが、周りがどんぐりを植えているのを見て自分も植えてみたところ、楽しくなった。葉の落ちたクヌギの苗木は棒のように見え、植えても育つか少し不安に感じた。(中学1年生 女子)



どんぐりから育てたマテバシイ、クヌギの苗



丁寧に植樹



鎌を使って草刈り



植樹箇所に看板を設置

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：1.0ha  
植付本数：200本  
下刈面積：6.0ha  
作業道修理：200m

#### 参加者数

県内：48人  
県外：3人  
計：51人

#### 樹種

マテバシイ、クヌギ

## 緑の水の環境教育体験活動事業

熊本県大津町



### 事業概要

熊本県大津町の里山にあるオズの森は、2010年より幼稚園児や小学生、学童保育等の自然体験活動の場として活用されている。今後も継続していけるよう、本事業は、地域の子どもたちや住民と森遊びの楽しさを共有し、健全な地域社会の形成に寄与することを目的とする。主な活動は、森遊び、森の小枝を使った木工、県内産木材を使った作業台・小屋づくり、森のトイレ体験。

### 事業成果

2日間の行事で延べ66名の参加者があり、地域の協力による臨時駐車場の提供を通じ、活動への理解と協働関係が深まった。小屋づくりや木工では地域の森林組合の協力を得て県産材の活用と森林との関わりへの理解が深まった。参加者は定員を上回り、初めての森遊びとして参加しやすい内容や広報も好評であった。また継続開催や協力申出も多く、活動への関心の高まりが見られた。さらに道具・ト

イレ等の環境整備が進み活動基盤が強化された。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・地域の森林組合の担当者から、これまでの間伐、植樹などを中心としたハードな作業イメージから、親子や、一般の初めて森に来る方々に分かりやすく楽しめるプログラムが組まれていて、みなさん楽しんでいました。今後の林業関連のPR、広報などに参考にしていきたい。

### 参加者の声

- ・森遊びが登山やハイキングとは違う楽しさがあった。想像もつかないすてきな森遊びを楽しんだ。
- ・よく管理された自然がいっぱいある。クラフトでは削り馬や様々な工具を使い、丁寧に教えていただいた。
- ・次回の開催があればまた来たい。
- ・のんびりゆっくり過ごせる森が大好きになった。
- ・このような体験を一人でも多くの子どもたち、大人たちができるようにと願っている。



北欧削り馬木工



ログテーブル木工の組み立て



小枝でバードコールづくり



活動場所での作業説明の様子

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

北欧削り馬木工、作業台・小屋づくり、森のトイレワークショップほか  
森林資源活用：ヒノキ（約0.203㎡）、スギ（約0.006㎡）

#### 参加者数

県内：83人  
県外：1人  
計：84人

